

第10回 小千谷リビングラボ「at! おぢや」

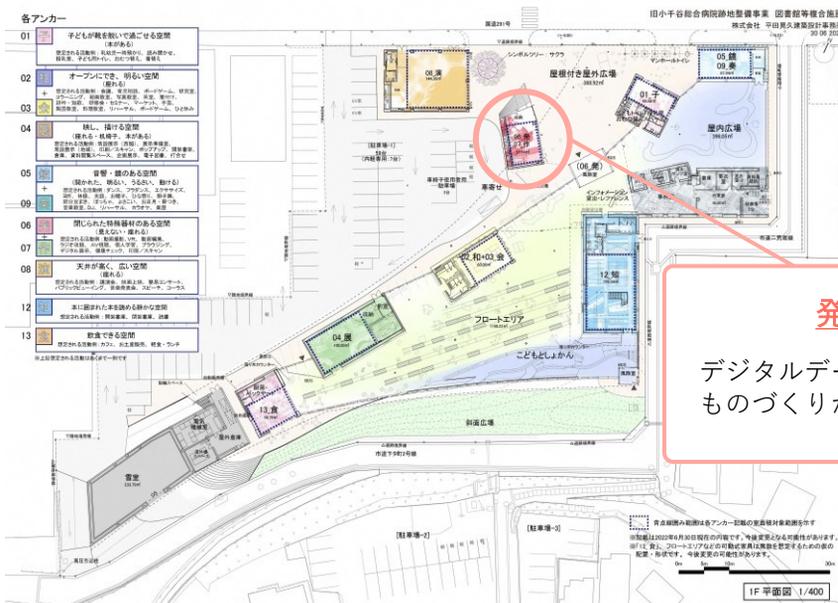
グループ対話

「発・作アンカー、食アンカーでのプログラムの企画書をつくろう」

参照資料

2022年10月2日（日）

「発+作アンカー」の紹介



「発+作アンカー」でやってみたいこと

- 自作映画発表会YouTubeで配信ができる
- 家族の記念写真撮影
- 作る→展示する
 - ⇒ デジタル：思い出のポストカード
 - ⇒ 工作：夏休みの自由工作・アニメづくり・子ども料理教室
- ゲームづくり・アニメづくり

「発+作アンカー」が
どんな場だといいか

- 誰でも使える・配信できる
- 講師・参加者がWebからも参加

現時点での発+作アンカーの想定（建築）

※記載の図面・図版は実施設計時の内容です

印刷機能

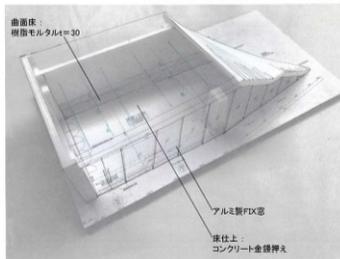
チラシやポスター、カットイン
シートの打ち出しができる。

作+発

主な機能「デジタル工房」

想定機能
動画撮影、動画編集、
デジタル展示

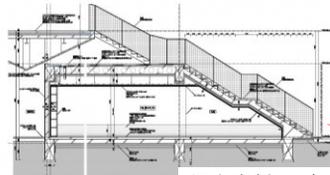
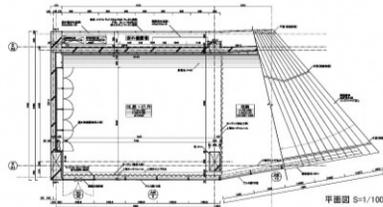
- 新しい技術とのタッチポイント
3Dプリンターやレーザーカット等のアドバンスな機材を配置し、ワークショップなどの機会に触れることができる。
使い方を教えられる職員やボランティアなど、利用を補助できる運営が望ましい。
- 施設、おもに必要な「もの」をつくるデジタル工房
郷土資料の3Dデータ化、ポスター等の印刷等、施設の事業・サービスに必要な「もの」を制作する。まちづくりに必要な「もの」を作れるようになると望ましい。
- オープンなスタジオ
広場に対してガラス張りの大開口が設けられており、内部での撮影等の様子そのものが施設や街の景観機能を果たす。



ものづくり
機能

施設利用に必要な物品（展示
物等）をつくることことができる

撮影機能
発信機能



アーカイブ
機能

郷土資料のデータ化、
アーカイブを行うことができる。

印刷機能



撮影機能
発信機能



ものづくり
機能



アーカイブ
機能



「発+作アンカー」についてat!おぢやのアンカンファレンス・新潟工科大学連携プロジェクトで話されてきたこと

「発+作アンカー」を使ってやれそうなこと

アンカンファレンスA1「電子情報を活かす」

- 昔の写真や活動をデータベース化
- 地域の人でつくるアーカイブ
- タブレットの使い方講座

アンカンファレンスB7

「西脇順三郎を知る・学ぶ」

- 常に見れる映像などをつくる・流す
- 一緒に調べてつくっていく
- ネットから講演などみられる

アンカンファレンスB3「趣味でつながる」

- オンライン講座
- 活動内容を動画UP
- ○○教室的にやる

「発+作アンカー」を使ってやれそうなこと

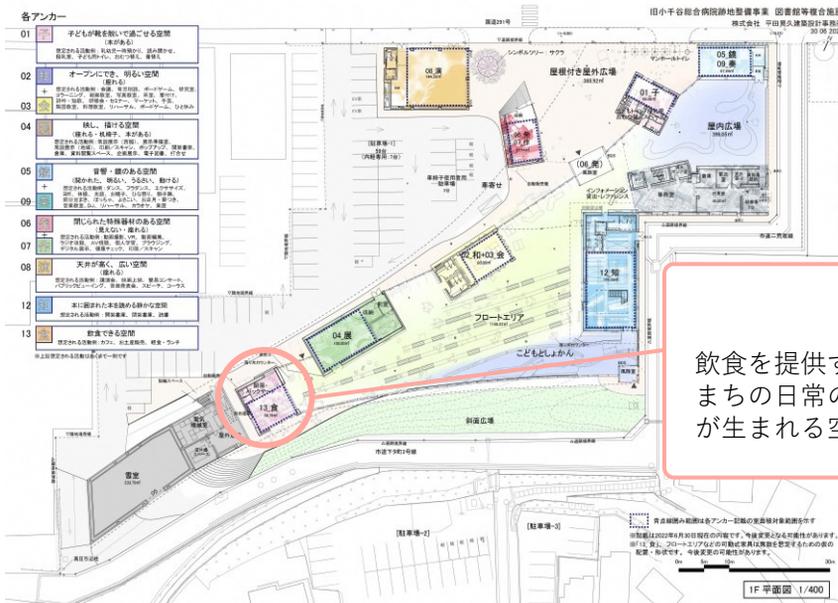
[工科大PJ] おぢや本作りプロジェクト

- まちの人の好きなコト・モノを本に集める
- フォトアルバム
- 持ち寄ったデータを編集、印刷
- 製本作業

[工科大PJ] まちにアンカーを広げる

- 「〇〇をつくってもらえないかな…」という人とのマッチングができる仕組み
- 図書館で使う道具を自作する
- 技術を教えてもらい、自分の好きなものや作りたいものを作るようにする

「食アンカー」の紹介



「食アンカー」でやってみたいこと

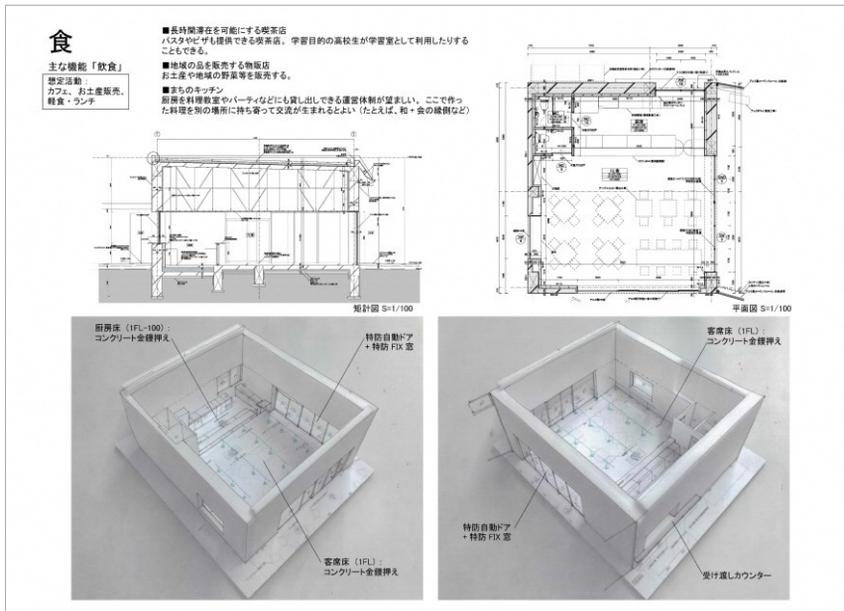
- こども食堂
- 果実酒づくり
- お酒を楽しむ
- 食育講座
- コーヒー講座
- ワインセミナー
- 子どもが考えたメニューの提供

「食アンカー」が
どんな場だといいか

- ペットを連れてこられるとよい
- 犬用の食事が出るとよい
- 提供されるメニューをもって屋上で楽しむ

現時点での食アンカーの想定

※記載の図面・図版は実施設計時の内容です



想定設備

- ワークテーブル
 - スパゲティ釜
 - 涼厨ガスフライヤー
 - ガステーブル
 - スチームコンベクションオープン
 - 軟水機
 - スチコン架台
 - 冷凍冷蔵庫
 - 一漕シンク
 - チューブアイスメーカー
 - テーブル型冷蔵庫
 - 食器洗浄機
 - ソイルドテーブル
 - コーヒーブルーワー
 - エスプレッソコーヒーマシン
 - ガス給湯器
- 等

「発+作アンカー」を使ってやれそうなこと

アンカンファレンスA6「食を活かす」

- プロフェッショナルが（デモンストレーション）（絵本や小説のお菓子再現）
- 市所有のキッチンカー、レンタルなどでいろんなお店や個人が食べ物を出す

アンカンファレンスA8「ビアガーデン」

- 料理教室とセットで（自分でつまみも用意）
- 新しいお酒のテイスティング実験台

アンカンファレンスB2「福祉を支える」

- 高齢者や障害者と交流の場→子ども食堂と一緒に参加、キッチンカーを利用する

サウンディング型市場調査とは

公共施設や公有地のより良い活用方法を検討するために、**事前に民間事業者との対話を通して、市場性、実施内容、活用アイデア等を把握し、事業内容、公募条件等の策定に活かすことを目的に実施することを目指す**ものです。

9月6日（火）～9日（金）の実施期間に

8者にご参加いただきました

カフェ機能の方針

R4 カフェの運営等に係るサウンディング型市場調査実施要領より

飲食を提供するだけでなく、本施設やまちの日常の一部として、地域や人、産業とのつながりをつくり、憩いと交流が生まれる空間を目指します。

1. <食>をハブとした地域循環の仕組みづくり
2. 誰もが行きたくなる、魅力的な場とサービスデザイン
3. 小千谷市民の日常の一部となり、文化となる

サウンディング型市場調査から見えてきたこと

場の方向性における可能性

- 学生が気軽に入れる場。
- 色々な人との再会、出合いの場。
- 若い人だけでなく、市内の人が、ここに来れば誰かに会える、一人で来店して二人で帰っていくような、暖かい場。
- 地域の食材など生活に根付いている場。
- 市外に行かずとも、小千谷でおしゃれな空間として使ってもらえる場。
- 非日常が演出された場。
- 若者が日常的に集まる、まちづくりの拠点。
- 家でもない、職場でもない、サードプレイスとして、リフレッシュの場。
- スポーツバーのような、一つの話題で初めての人とも交流できる場。
- フードドライブ、子ども食堂としての場。

事業形態の可能性

- コーヒースタンド。
- スイーツや軽食の提供。
- 昼は家族連れで楽しめるランチ、夜はしっかりとした料理も提供するワインバー。
- 食事のできるカフェ。
- 飲食だけでなく、地域のものやハンドメイドのアクセサリーなど、**そこでしか出会えないものがある。**
- 物販もできて、お店で完結せずに家でも楽しめる、ギフトにもできるような**生活に根付いたものとの組み合わせ。**
- ジョイントベンチャー。

プログラムの可能性

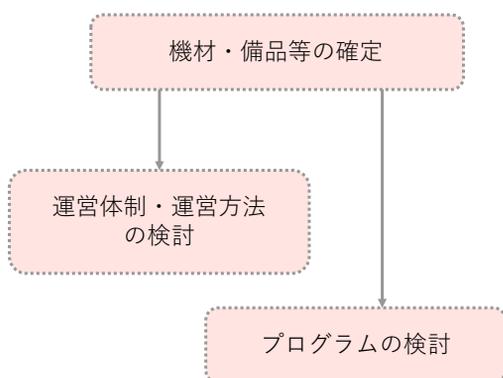
- カフェ運営事業者による**飲食セミナー**（コーヒー、料理、ワインなど）。
- **学校と連携した起業教育。**
- **市の施策と連携した事業**（食育、健康増進、商店街活性化など）。
- **キッチンカーによる市内イベント**や人が集まるところへの出店。
- **情報発信力**（情報収集→編集→デザイン→発信）を高める。
- **まちづくりの拠点としてのプレイヤーの創出**（人材育成）。やりたいをかたちにできる、やったことをみんなで共有できる場。関係人口の創出。
- 複合施設の集客力を活かした空き店舗活用による**商店街活性化**。リノベーションスキル、エリアマネジメント（ターゲット絞ったコンテンツの集積）。
- **クラウドファンディング**の活用。

施設の他機能との連携可能性

- 図書館との実践的なビジネス、起業、食育、商店街の活性化支援。
- 本⇄ドリンクの持込。
- ベントの際のドリンク有料提供。
- 南側斜面広場（芝生）の利用。

「発+作アンカー」・「食アンカー」に関わる今後の整備検討の予定

「発+作アンカー」



「食アンカー」

